



- 新年のごあいさつ
- 2013年 京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会開催
- 「災害時等における清掃・消毒等の環境衛生に係る協力協定書」締結

CLEAN CREW



京都の持つ「力」を生かし、「オール京都」で明日を切り拓こう

京都府知事 山田 啓二

府民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、ロンドンオリンピックでの京都府ゆかりの選手の活躍や、京都大学山中伸弥教授のノーベル賞受賞など、府民にとって大変誇らしい出来事があった年でありました。その一方で、痛ましい交通事故の発生や南部地域での豪雨被害、停滞する経済と厳しい雇用環境、生活保護受給世帯の増加、原子力発電所の安全性をめぐる問題や節電対策など、多くの課題が生じた年でもありました。

昨年の衆議院議員選挙では、エネルギー問題、消費税増税問題、TPP交渉参加問題などを巡って国論が二つに割れ、また領土問題など「対立」が目立った年でもありました。だからこそ、今年は「和をもって貴しとなす」、この言葉を実践する年にしたいと思います。困難な課題が多く、難しい判断が求められますが、巳年となる今年は、蛇行することはあっても、着実に前に進んで行きたいものです。そのために、私どもはこれまで以上に「熟議」し、その上で「判断」し、みんなが心を合わせ、困難に向

かって「行動」していかなければなりません。

幸い、京都には、さまざまな機関や団体、そして府民の皆様が連携し、協力して大きな力を発揮するという「オール京都」の風土があります。この「オール京都」による取り組みは、昨年「古典の日」の法律制定や、「和食」の世界無形文化遺産登録に向けた活動、「京都産業育成コンソーシアム」による中小企業支援、高齢者の方々々が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするための「京都式地域包括ケア」など、すでに多くの分野に及んでいます。

また、地域に暮らす皆様が協働して地域づくりに取り組む「地域力再生プロジェクト」は、この6年間で3000件を上回り、身近な道路などの改善を府民の皆様の提案により行う「府民公募型安心・安全整備事業」は、この4年間で4500件にも上るなど、府民の皆様の協力によって地域を豊かにする取り組みが進められました。

府民の皆様お一人お一人が、夢と希望を抱き、生きがいを持って暮らせるような京都をつくっていくためには、こう



した取り組みを、府政運営の三つの基本方向である「府民安心の再構築」、「共生社会の実現」、「京都力の発揮」にそって活かしていくことが必要です。

京都には、伝統・文化の力やブランド力、人材やものづくり産業、学術研究の蓄積などの未来を創造する力といった比類なき「力」があります。本年3月には、京都縦貫自動車道の沓掛・大山崎間が開通し、26年度には全線開通を迎えるとともに、北近畿タンゴ鉄道の再生やJR奈良線の環境整備を進めることで、府民の皆様の力をさらに結集できる条件が整ってきます。

日本全体が大きな構造変化に直面し、未来への道筋を見いだせない今、京都の持つ「力」を存分に発揮するためにも、今年の合い言葉は「オール京都」でいきませんか。

この1年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

2013年 京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会開催

1月11日(金) リーガロイヤルホテル京都

年頭恒例の新年賀詞交歓会が、1月11日(金)、リーガロイヤルホテル京都において盛大に開催されました。

京都府知事代理、健康福祉部副部長の余田様をはじめ来賓34名にご臨席を賜り、会員並びに賛助会員を含む181名の参加のもと、午後5時、山元副会長の司会にて始まり、花田副会長による初の開会宣言の後、植西会長より年頭の挨拶があり、「当協会は、公益性の高い事業への取り組みを通じ、社会貢献を中心に活動してまいりましたが、

その一環として、昨日10日、京都府さまと災害協定書を締結させていただきました。公益社団法人として、少しでも地域のお役にたてればとの思いを込め、協定を結ばさせていただきましたので、有事の際には、協会員皆様のご協力を宜しくお願いいたします。」と述べられました。

多くのご来賓の中から、門川市長様、伊吹文明衆議院議長様始め、8名のご来賓よりご祝辞を賜り、祝電が披露された後、全国協会近畿地区本部



梶山部長様のご発声により、京都市条例に基づき、日本酒にて乾杯、懇親の場になりました。

懇親の宴は終始和やかに進み、宴たけなわのなか、河本副会長による中締め挨拶と、一本締めにて、新年賀詞交歓会は終宴いたしました。

好機の兆しをつかみ、果敢に挑戦し、 跳躍する一年に

京都市長 門川 大作

新年おめでとうございます。

皆様にとって、この1年が喜びの多い年になりますことをお祈り申し上げます。

市長に就任して5度目のお正月を迎えました。この間、厳しい社会経済状況の中、職員一丸となって行財政改革を進めてきました。市長就任時には1万6千人余りであった市職員数を1万3千7百人にまで削減するなど、あらゆる努力を重ね、ようやく最大373億円あった赤字を解消できました。地下鉄・市バスの経営健全化も着実に前進しています。しかし、まだまだ課題山積です。行財政改革の徹底、中小企業の活性化、雇用の創出、環境、子育て支援、教育、福祉、安心安全なまちづくりなど、あら

ゆる分野で京都の力を結集し、市民の皆様と共に今年も全力投球していくと、新年に当たり、決意を新たにしています。

私が一貫して大切にしている行動指針、それは、「迷ったときはより困難な方の道を選ぶ」ことです。人にも、まちにも何度かチャンスがあります。それに挑戦するかしないかで、未来が決まります。ちょうど「挑む」という字が、「手」偏に「兆し」と書くように、厳しさの中で良い予兆、兆しが見えても、見ているだけでは、「眺める」だけで終わります。手でその兆しをつかみにいってこそ、「挑む」という字になります。そして、兆しをつかんで、足で走り回ってこそ、未来に向かって大きく「跳ねる」ことができま



す。昨年、本市では、市民の皆様と夢や理想を共有した本市の基本計画「はばたけ未来へ!京プラン」の実施計画を策定し、すでにこれまで、特に重要な事業(リーディング・プロジェクト)の9割以上に着手してきました。本年はそれらの取組をより一層加速させていく重要な年です。勇気を持って果敢に挑戦し、京都が未来に大きく跳躍する礎を築くため、引き続き皆様と共に全力を尽くしてまいります。

本年もよろしく願いいたします。

「世界の京都・まちの美化市民総行動」 ～楽しくきれいを広げよう～京都。まち美化大作戦

11月4日(日) AM10:00~12:00 京都市役所前広場 参加規模：約3,000名 主催：世界の京都・まちの美化市民総行動委員会

京都市消防音楽隊による演奏から始まって、同志社女子大学ダンス部によるダンスパフォーマンスがあり、主催者代表挨拶で門川大作京都市長のご挨拶に続いて来賓挨拶に大西均京都市会議長のお言葉を頂き、まち美化開始宣言を大倉敬一実行委員会会長の号令で開始しオープニングセレモ

ニーは無事終わりました。

オープニングセレモニー終了直後、美化啓発パレードと清掃活動の2パターンに分かれてスタートしました。青年部は美化啓発パレードに参加しました。

美化啓発パレードは、日頃からの市内で美化活動の実践に取り組んでいる企業・団体のアピールの場として、消防音楽隊の行進とともに、市役所前広場～寺町通～三条通～河原町通～市役所前広場をパレードしました。参加した青年部は、メーカーさんの協力で3台(アマノさん・蔵王産業・ケルヒャーさん)の

スィーパーを用いて行進しました。一緒に参加されておられた企業・団体の皆様からスィーパーを見て「すごい」との声を頂き、いいアピールが出来たと思われれます。

清掃活動は、京都市役所前広場を25コースに分かれてスタートし、4箇所の各ゴール地点(岡崎公園・元京都市立弥栄中学校・御射山公園・竹間公園)までの清掃活動を実施されました。青年部は不参加です。

また、市役所前広場にて展示ブースがあり、京都協会も出展しており渡守部会長が取材及びインタビューを受けておられました。出展ブースは計6か所出展しておりました。

多くの方々が、出展ブースに来て頂き、無事にまち美化市民総行動は閉幕しました。



新年のご挨拶 [2013年 新年賀詞交歓会にて]

公益社団法人
京都ビルメンテナンス協会 会長 **植西 雅史**

新年明けましておめでとうございます。

日ごろは協会運営につきまして、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。

また、本日は大変お忙しい中、来賓の皆様にはさまざまな方面からご出席いただきまして誠にありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。

昨年暮れにあった衆議院選挙で政権が交代し、自民党と公明党の連立に戻りました。その結果、市況の好感など経済的な向上が期待できる年になる予感をお持ちの方も少なくないと思います。

公益社団法人たる京都協会も、会員様のお商売がうまくいってこそアマネク府民への奉仕が出来、またアビリンピックで金賞を輩出するなど、障害のある方も含め大きな雇用の受け皿として社会に貢献もできるものであると考えたとき、景気の回復が必要条件になってまいります。

幸い京都からは、本日ご来賓でビルメン業界に精通しておられる議員懇談会会長の伊吹文明様が「衆議院議長」に就任され、また谷垣禎一様が「法務大臣」になられるなど頼もしい限りでございます。

より一層のご活躍とご尽力を期待しているところでございます。また、本日の読売新聞と京都新聞に載っておりますが、昨日は京都府様との間で「災害時等における清掃・消毒等の環境衛生に係る協力協定書」を締結させていただきました。

巨大地震や水害などの激甚災害が起こりうることを常に考えておかなければならない昨今、従来はそれぞれ個別に対応してまいりました。

しかし、公益社団法人として認定をいただいた事で、何か正式な形でのお手伝いが出来ないかと考え、京都府様

と相談させていただきました。

その結果、福岡県を始め全国のビルメン協会で8つある公益社団法人の中では初めてとなる、災害協定締結という運びになったところでございます。

皆様には、もし京都府内で大災害が発生した折には何卒ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

このように、私たち執行部全員が、これら公益性を中心にしたステータスシンボルを充実させ、より魅力のある協会を作り上げ、新たな会員増強案なども駆使しながら確固たる協会運営ができるように道筋をつけていく年にしたいと考えております。

さらに、来年には、我が京都協会が産声をあげた東京オリンピックのあった1964年から50年目となり、大きな節目を迎えます。

大阪万博などを契機に高度経済成長とともに発展し、紆余曲折がありながらも粘り強く運営してこられた先輩方に敬意を表したいと思います。

次の50年へのステップアップの願いも込め、来年5月に記念式典を予定しておりますので、ふるってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、昨年のトンネル天井崩落事故に見られるように、建造物の経年劣化が今後ますます進んでくる中、いかに適切なメンテナンスをしながらその役割を伸ばし、安全第一のコストをどこで線引きするのかが、社会の大きな課題に



なっております。

図らずも、昨年11月から全国ビルメン協会のキャンペーン委員会が中心になって官公庁施設の適正な保安全管理を目的に、発注担当官や保全監督担当の方などを招き、各地でセミナーを開催しておりますが、京都協会も京都府様・京都市様との勉強会を通じ、10年・20年後を見据えた建築物の環境保全行政のお手伝いをさせていただく所存でございます。

最後になりますが、昨年暮れに京都市の条例で、罰則は無いながらも乾杯の時は日本酒でといういかにも京都らしい条例が可決したそうでございます。

また、1月13日曜日には都道府県対抗女子駅伝が行われ、アテネオリンピックの金メダリスト野口みずきさんが京都のキャプテンとして走られるそうです。さらに、このたび始まった大河ドラマの八重の桜の舞台になるなど話題に事欠かないこのすばらしい京都の発展を願うとともに、この協会を支えていただいている会員様はじめ関係各位に感謝し、今後ともより一層のご支援ご協力をいただきますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

コ
ラ
ム

「神社にいるのはどんな人」

● 神職とは

神社で祈禱やお祓いなどの神事を行う人のことを神主さんと呼んでいます。神社の職員であることから、神職ともいいます。もともとは、その土地の氏神をまつるときに中心になる人のことでしたが、しだいに職業として定義するようになりました。神職には、いくつもの段階があります。

※氏神：氏神とは、同じ地域や集落に住む人々が共同でまつる、その土地の神様のことです。


☆ 神職の段階

宮司：神社を代表する神職

禰宜：宮司の補佐

禰宜：一般職員

出仕：神職の見習い



「災害時等における清掃・消毒等の環境衛生に係る協力協定書」締結

1月10日(木) 京都府庁1号館3階会議室

さる1月10日(木)午後1時より、京都府庁1号館3階会議室におきまして、京都府と公益社団法人京都ビルメンテナンス協会との間にて、「災害時等における清掃・消毒等の環境衛生に係る協力協定書」が締結されました。

先ず、山口健康福祉部長より、協定の骨子について「地震や災害が起きた場合、府は、同協会に対して、市町村が設置する避難所や府、市町村の公共建築物などを清掃・消毒する活動を要請できると定めている。又、府の依頼を受け、同協会は建物の被害状況の調査にも当たる」との説明が行われました。そして、植西会長、山内副知事双方が協定書の内容を確認のうえ、協定合意のしるしとして、協定書の交換が行われました。

協定書交換の後、植西会長より「当協会は、ビルの清掃管理業・電気空調給排水等設備管理業など62社で構成され、常に社会貢献に力をいれてまいりました。おかげさまで、2011年4月には、京都府より、公益社団法人として認可を頂き、その名に

恥じぬ活動に努めてまいりました。その後、公益社団法人として、府民に役立つ活動がしたいと、府に協力を申し出ておりましたところ、この度、災害時の避難所や資機材備蓄場所などの清掃、消毒及び、公共建築物の被災状況の調査などに協力して頂きたいとの要請があり、協会としまして、我々が持っている技術を地域のために活かしたいとの思いを込めて、協力させていただくことをお約束いたしました」と挨拶されました。

続いて、山内副知事より「避難所等の衛生管理は自治体にとって最も重要であり、清掃や消毒に取り組んでもらうことで、子供やお年寄りなど体力の弱い被災者にとって良い環境を保つことが出来ます。又、公共建築物等重要な施設の災害状況の調査も重要な活動と考えております。この重要な活動に対し、半世紀もの歴史ある京都ビルメンテナンス協会さまのご協力を賜るこ



とは、府としまして、これほど心強いものはございません。協会の皆様の協力体制に感謝しますと共に、今後とも府行政にご協力の程、よろしくお願い致します」とのご挨拶がありました。

災害時における協力活動ということで、時節柄、メディアの関心も高く、NHK京都放送及び、京都・読売・産経新聞各社が取材に来ておりました。



■協定書締結式出席者

[協会]

植西会長／矢口名誉会長
河本副会長／花田副会長
山元副会長／渡守理事

[京都府]

山内副知事／山口健康福祉部長
早川防災・原子力安全課参事
松井生活衛生課長

アビリンピック京都府代表 奥野真穂選手 堂々の金賞獲得 日本一へ

第33回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)が、平成24年10月20日～22日に長野県長野市で開催され、京都府代表の奥野真穂さん(19歳)が見事に日本一の金賞に輝かれました。

今回のアビリンピックは、26種目、304選手が2つの会場に分かれ競技を実施、ビルクリーニング競技は、各都道府県の代表31名が2つの課題を、午前・午後に分かれて、日頃培ってきた技能を競いました。

[課題1]カーペット床清掃 (指定時間:7分間以内)

指定時間内に、あいさつからタイルカーペットの床面のバキューム作業を行い、作業の効率化、資機材の取扱、清掃の正確性を競います。

[課題2]弾性床清掃及び机上清掃 (指定時間:12分間以内)

ビル内の事務室内を指定時間内に、あいさつからゴミ箱の処理、床面の掃き、拭き、机上拭きのビルクリーニング業で行われる基本作業を行い、作業の効率化、資機材の取扱、清掃の正確性を競います。

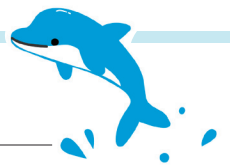
京都府代表の奥野真穂さんは、2つの課題を完璧に行い、日本一の金賞に評価されたものです。また、合同で練習会を実施した和歌山協会の代表選

手 阿部 茜さんも努力賞を獲得されました。

今回の金賞獲得は京都協会(公益事業委員会)においても、大変うれしい荣誉となりました。



[経営開発セミナー] 京都水族館見学へ行ってきました



平成24年11月19日(月)開催の経営開発セミナーに参加し、京都水族館を見学しました。

館内は京の川ゾーンからはじまり、京

の里山ゾーンまで続く9のゾーンが有り、それぞれのゾーンごとに趣向が工夫されて見入ってしまいました。

ゾーンの中でもやはり一番注目度が高いのは、イルカスタジアムです。老若男女関係なく童心になり楽しめるイルカショーは圧巻でした。

そしてイルカスタジアムの向こうは海ではなく原っぱがあり、丁度少年達がサッカーに

興じていて、まさに海のない京都盆地に存在する水族館であり、穏やかで暖かな気持ちになりました。

それぞれのゾーンで入館者を出迎えてくれる川や海に住む水生生物達、かれらも水槽の中から入館者を観察しているのでしょうか、会話が出来るならば聞いてみたいものです。

そして水生生物を見守っているスタッフの多種にわたる業務(特に水管理の最新技術と細心の管理)を垣間見ること出来た有意義な見学会でした。



KBMA Information

[1月から3月の予定]

会員の変更事項

【正会員】

●退会

・コスモエンジニアリング(株) <平成24年12月末日退会>

表彰事項

厚生労働大臣表彰 河本 豊
厚生労働大臣表彰 山本伸二
ビル管理教育センター会長表彰 古河慶司

KBMA 京都ビルメンニュース

第60号(2013年冬号)

Kyoto Building Maintenance Association News

編集人:広報委員会 発行人:植西雅史
発行所:公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
〒615-0042
京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F
TEL:075-314-8021 FAX:075-314-3860
ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

ビルメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか?

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。詳しくはホームページ「(公社)京都ビルメンテナンス協会検索」をご覧ください。協会事務局までご連絡なくお問い合わせください。